

東京聖栄大学 後援会会報

編集発行
東京聖栄大学
後援会

◆豆!豆!料理コンテストにて「特別賞」を受賞!!◆

平成二十八年十月十三日に全国豆類振興会が、「豆の日」関連イベントとして「豆!豆!料理コンテスト」が実施され、応募総数一、一一四作品の中から本学3NA明星紗希さんが考案したレシピ「アップル大豆パイ」が特別賞を受賞しました。



管理栄養学科 三年次生
明星 紗希さん

審査会が実施され、参加者は制限時間内で調理を行い、作りやすさ等から審査が行われました。松本信二学長から明星紗希さんに、表彰状が授与されました。

会長挨拶

後援会会長 福本 雅則



春の便りが各地から伝えられる季節となつてまいりました。会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃からのご理解とご協力をおもちまして、後援会活動を滞りなく進めることができました。とに心よりお礼申し上げます。

本コンテストは、豆を使ったオリジナル料理を募集し、優秀作品を表彰するとともに、それらのレシピを広く紹介するもので、消費者の豆料理に関する関心の向上等を目的として毎年開催されています。九月一日に本学附属調理師専門学校にて最終

また、ご卒業を迎えられる卒業生の皆様、そしてお子様方のご成長を温かく見守り支えられてこられた保護者の皆様ご卒業おめでとうございます。

さて卒業生の皆様は今まで学んだ力を発揮すべく、満を持しての門出を迎えられていることと思います。勿論今までの学校という学びの世界とは異なる世界への一歩を踏み出すにあたり、不安も少なからず抱いておられることと思います。

ここで不安を抱く心を振り返ってみてください。幼稚園、保育園時代の卒園式、小中高の卒業式のことを。それぞれに

あつた次の学校に進学することへの大きな期待と喜びそして不安。

実はその頃より遙かに大きな不安を抱いている皆様が多いのではないのでしょうか。

それは学校とは大きく異なる環境への不安であることは言うまでもありません。しかしもう一つは皆様の大きな成長の賜物なのです。

学びを重ね、力をつけてきたからこそその拡がった視野による不安でもあるのです。自分の成長への自信と謙虚さ、両方を大切にしながらはじめての一歩を踏み出して下さい。

そして社会人となつても日々学び続けて自分を高めて下さい。最後になりますが、日々学生への親身のご指導やよりよい教育環境の充実に取り組んでいただいている教職員の皆様に感謝申し上げます。ご挨拶と致します。

平成二十八年年度保護者会報告

保護者会(後援会・大学共催)が平成二十八年十月八日(土)、九十二名の保護者参加のもと開催されました。

全体会では、福本雅則後援会長、田所忠弘学部長の挨拶のち「各学科の現状と課題(報告)」と題して橋場浩子管理栄養学部長、丸井正樹食品学科長より夫々報告が行なわれました。

続いて学科・学年別の懇談会がクラス担任を中心に実施され、履修状況及び就職活動、国家試験対策、家庭での様子など参加者全員による懇談後、個別形式での面談が行なわれました。担任と保護者間で情報共有がなされるなど、有意義な場となりました。

その後、教科担当者や研究室指導教員などを交えた情報交換会(希望者のみ)が、和やかな雰囲気の中行われました。

保護者会に参加して

1FB 野田 哲三

縁あつて東京聖栄大学に入学生した娘は学ぶ楽しさを教わっており、よい大学に進むことができたこと喜んでおります。保護者会の案内を頂き、今更ながら大学の実態を知りたく参加しました。一号館講堂では全体会が行われ、管理栄養士国家試験合格率、就職状況等の報告で毎年順調に向上している説明を受けました。それは本学の特徴である少人数制のキメの細かい指導の成果であること理解しました。その後に行われた学科・学年別懇談会では各教室に分かれて参加者の自己紹介から始まり、和やかな歓談のなかで担任の先生からクラスの様子を詳しく聞かせて頂きました。また個人面談も行われ、一人一人の学生に対して先生方が熱意をもつて向き合つておられることを感じました。最後に懇談会が行われ、大学の先生・職員方と多数の保護者の方々が歓談しました。大学でこのような保護者会があり、学内に足を踏み入れ先生方と直接話をする機会が与えられ、娘の通う大学への理解が深まり参加して本当によかったです。

健康栄養学部

エール支援のご協力

健康栄養学部長 田所 忠弘



平成二十六年からスタートした教職課程が順調に推移しつつ、国家試験対策もいよいよ山場を迎える時期となり、昨年度を上回る結果報告が出来るよう期待感で満ち溢れています。一方、食品学科にあつては、本年度の就職内定率も管理を上回る向上を示すとともに、上場企業への内定者もその数を増やすまでに至ってきています。

さて、このように順調な報告が出来ます背景には、本大学の特色である全学生達と大学教職員との緊密かつ温かみのある連携や大学教室内の学生による授業評価アンケートの反映からより分かり易い授業内容の改善努力をもって功を奏す結果に繋がったものと理解しています。昨年度末に学生達と教職員による率直な意見交換会も積極的

に行われ、今後さらなる大学の質の充実、向上に向けたすばらしい意見を沢山頂戴しましたので、後援会皆様方からのアドバイスやご意見と合わせてさらに数歩前進できる大学となれるよう教職員一同尽力いたしますので、ご

協力、ご支援賜りますよう宜しくお願い申し上げます。ご支援賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



学生との意見交換

管理栄養学科

新しい国試対策体制について

管理栄養学科長 橋場 浩子



現在九期生は、三月十九日の管理栄養士国家試験を目指して、最後の追込みに入っております。今までの模試結果では、全国平均をやや上回っており、

今年度も良い結果が期待できそうです。ご家庭での体調管理等に関しまして、ご協力の程宜しくお願い致します。さて、平成二十九年からは、管理栄養士の国家試験日が二週間程度早まります。この対応として、管理栄養学科四年次生の授業のみ早めるように計画しております。

それと並行して、本学科は新しい国試対策を進める体制を整えているところです。今まで国試対策として、特論、特講という名称での授業を行ってまいりましたが、これを合わせて健康・栄養総合演習という名称に変えました。その内容は、健康・栄養総合演習概論(二単位)で、模擬試験および解答・解説を行います。健康・栄養総合演習Ⅰ(六単位)、同Ⅱ(四単位)、同Ⅲ(四単位)では、従来の特論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの内容を更に充実させていきます。

これら健康・栄養総合演習概論、同Ⅰ・同Ⅱ・同Ⅲ全てをクリアすることが国家試験受験資格を得るための必須条件となります。

このような状況を、保護者の皆様にはご理解いただき、

ご支援・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

食品学科

新旧交代

食品学科長 丸井 正樹



模擬試験

理解してこそ良質な缶詰が生まれます。そこを理解してもらおうのが狙いです。最近の機械は電子頭脳(誇張し過ぎ?)によって動き、操作は材料を入れてボタンを押すだけ。機械が何をしているのか見えません。生産性はいいけれど、教育にはどうも。機種選択に悩むところです。ただ新しいものに変えるだけではダメです。教育の場では古いものが役立ち、必要とされることもあり。

北島康介と渡辺一平のことはありません。食品加工機械や食品成分分析器の更新のことです。この春に第十三期生を迎えますが、大学開学時から使用してきた機械などの老朽化が目立っています。短大時代から大切に使用してきたものはとうに耐久年数を越え、部品すら製造中止になっていきます。缶詰実習に欠かせない巻き締め機ももしかたは最新のものにはしません(新品ではありません、念のため)。なぜ? 缶詰の仕組みを

新しい年度を迎えるにあたり、食品学科にも新鮮な空気が入ります。新任や昇格による新しい教員の参入、学科長の交代。新しい風は今あるものを清楚にし、活性化します。そこに社会で活躍する食品技術者を育てる新たな発想が生まれてきます。学科のポリシーは一貫して受け継がれ、それを実行する新たな良策が新旧交代のときに生まれる、この春に期待されることです。



卒業論文発表会

学生支援センター

(学生支援・就職支援)

「学内業界説明会」を 四日間に亘り実施

三年次生の就職活動が解禁となる三月を間近に控えた二月に学内業界説明会を開催しました。これは学生支援センターが開催する就職支援事業では最大のイベントで、例年参加企業様から多数の内定を頂いています。

今回は二月十六日・十七日に管理栄養士職採用企業から計二十社、二十二日・二十三日には食品関係企業から計二十一社の延べ四十一社の人事担当者が来校され、業界や各企業についての説明などが行われました。

参加学生は多くのブースを訪れ、活発に質問をするなど様々な情報を収集して頂きました。就職希望者は今後も積極的に就職活動を行って下さい。



学友会活動報告

●「聖栄葛飾祭」における各表彰

平成二十八年十一月十二日(土)、十三日(日)に「聖栄葛飾祭」が開催されました。「食の祭典～say yeah festival～」と題し、東京聖栄大学の一年に一度の祭を学生と来場者が共に楽しむ事ができる、多数の企画を実施しました。

今年度は農林水産省関東農政局の後援を頂き、「お米も作る都市農業のはたらきを知る」と題し、もみすり体験コーナーを設け、多くの来場者に参加を頂きました。

また、葛飾区の後援や、警察・消防・自衛隊等の公的団体からも出展を頂き、地域に密着した「聖栄葛飾祭」として、大盛況に終える事ができました。

今回、「聖栄葛飾祭」において、学生達の活動が社会に高く評価され、各関係団体より表彰されました。

●「学園祭グランプリ二〇一六」より表彰されました

今年度「レッツエンジョイ東京」主催の、首都圏大学内において、秋の学園祭ナンバーワンを決めるコンテスト「学園祭グ

ランプリ二〇一六」に参加し、管理栄養学科企画「大丈夫ですか?防災に備えた非常食の準備(全国栄養士養成施設協会共催)」及び、食品学科企画「見直そう東京食材!東京都の食材を使った加工食品・料理メニュー展(日本フードスペシャリスト協会)」がとりあげられ、「企業コラボ賞」及び、

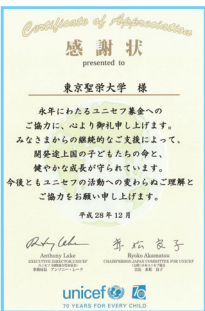
並みいる有名大学一〇二キャンパスの中で、「総合五位」に入賞いたしました。



食の祭典～say yeah festival～

●日本ユニセフ協会より感謝状が授与されました

平成十七年度から継続している「聖栄葛飾祭」における収益金の一部をチャリティー金として寄付しております。公益財団法人日本ユニセフ協会より、十年以上にわたる募金協力から感謝状をいただきました。



感謝状

●ブルドックス株式会社より表彰されました

ブルドックス株式会社主催の「模擬店デザインコンテスト」にバドミントン同好会(焼きそば)が応募し、「努力賞」に入賞いたしました。

「聖栄葛飾祭」における学生達の活動が社会に大きく取り上げられる事は自信となり、大学の発展にも大きく繋がる事と思います。今後皆様のご協力を宜しくお願いいたします。



●普通救命講習会を実施

平成二十八年十二月一日(木)に東京消防庁 本田消防署にご協力頂き、普通救命講習会が実施されました。

普通救命講習とは、心肺蘇生やAED、異物除去、止血法などの知識及び技術を東京消防庁の指導のもとに学ぶ講習です。



普通救命 (AED) 講習

す。本学は、平成二十年度より継続して実施しており、これまでに約三五〇名が受講しております。当日の実技講習会には、各学年から二七名の学生が受講しました。

●地域との意見交換会を実施

平成二十八年十二月七日(水)に新小岩駅北口周辺の自治会(新小岩第六自治会)の方々との意見交換会を実施いたしました。地域住民と本学教職員及び学生が力をあわせて新小岩駅北口地域をより良いまちにするために意見を交わし、交流を深める為を実施しております。

当日は、学生代表十二名が参加し、地域住民の方々と交流しました。

また、本学は新小岩第六自治会主催「新小岩駅音楽会と夏の夜店まつり」や、新小岩北地域まちづくり協議会主催「新小岩駅東北ひろばまつり」の地域イベントにも毎年、協力しており、地域との交流を積極的に行ってまいります。



地域との意見交換会

後援会副会長挨拶

後援会副会長 加藤 友作



木々の梢を揺らす風に春を感じるこの頃、後援会の皆様におかれましては益々御健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より後援会活動に御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、東京聖栄大学を卒業される管理栄養学科、食品学科の皆さん、御卒業おめでとうございませう。「卒業」とは、未来への希望と過去への別れが同時に存在する言葉であるとともに、今日までの辛いことや楽しいこと等、多くの事実やその積み重ねが集約されている言葉であると思ひます。これまで皆さんは、卒業する度に一回り大きく成長し、新たなステージにチャレンジしてきたことと思ひます。しかし、その陰には皆さんを温かく見守り、支えてくれた多くの方がいたはずでせう。この卒業を機に、改めてそのことを胸に刻み、感謝する心を持って、これ

4年次生の主な就職・進学予定先

【就職】

<管理栄養士・栄養士職>

(公務員) 足立区栄養士、練馬区栄養士
(病院) 嬉泉病院、小張総合病院、聖隷住倉市民病院、虎の門病院、衣笠病院
(福祉施設) 湖山医療福祉グループ、(社福) 双樹会 老健ダンディライオン、白十商事(有)
(保育園) (株)こどもの森、(株)ジエイキッチン、(株)ネス・コーポレーション、(社福) 福音の光ハレルヤこども園

(給食会社) 一富士フードサービス(株)、エームサービス(株)、(株)シダックス、西洋フード・コンパスグループ(株)、(株)センタン、(株)東洋食品フードサービス、(株)ニッコトラスト、日清医療食品(株)、富士産業(株)、(株)メフォス、(株)レパスト
(薬局・その他) (株)カワチ薬品、(株)クリエイトエス・ディー、スギホールディングス(株)、(株)ファンデリー、(株)美高商事、ライフ薬局(株)

<一般企業>

(株)アイイー・フーズ、(株)イクタツ、伊藤製パン(株)、イニシオフーズ(株)、(株)イー・ピーカンパニー、(株)オオゼキ、カネ美食品(株)、(株)川小商店、キリンシティ(株)、(株)甲羅、ゴディバジャパン(株)、(株)コロワイドMD、(株)サラダクラブ、三協食品工業(株)、(株)サンベルクス、(株)重光、(株)ジャパンパレツジホールディングス、(株)シュクレイ、生活協同組合コープみらい、タイハイ(株)、(株)ダイヤモンドダイニング、滝沢ハム(株)、竹下製菓(株)、(株)チェリオ中部、(株)釣八、トオカツフーズ(株)、(株)トラジ、(株)ナシオ、(公社)日本食品衛生協会、(株)ヒラタ、富士山の銘水(株)、不二精機(株)、フジパン(株)、プライムデリカ(株)、(株)プロンコピー、(株)マルエツ、(株)宮田、(株)メルヘン、山崎製パン(株)、ヤマザキビスケット(株)、山万ウイシュトンホテル(株)、(株)ユニマツライフ、沖縄特産販売(株)

進路状況

平成二十八年度卒業生の就職内定状況は、一月三十一日現在で九三・七％(昨年同日比プラス六・三ポイント)であり、昨

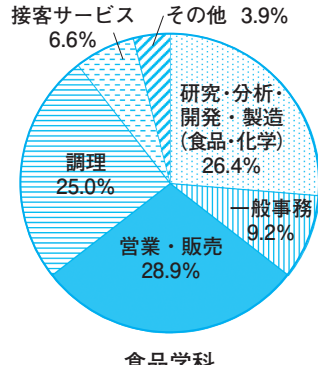
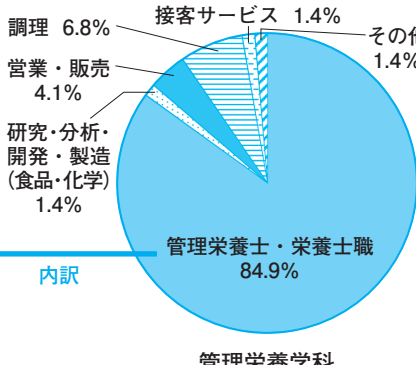
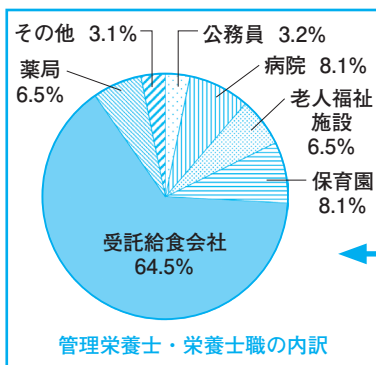
年度よりやや改善されました。学科別では、管理栄養学科は管理栄養士職を中心に九四・七％(昨年同日比プラス三・六ポイント)、食品学科は食品企業の研究・技術・製造職や調理職を中心に九二・七％(昨年同日比プラス八・九ポイント)となりました。

学生支援センターでは、就職内定者への就職支援を継続してまいります。未内定者は諦めずお願ひいたします。

また、現三年次生の就職活動は、昨年度同様に三月に企業の広報活動が開始になり、採用選考活動は六月に始まり、三年次生の就職活動はこれから本格化してまいります。学生支援センターでは学生の希望進路実現に向けて関係教職員と連携し就職支援をしてまいります。関係者の皆様のご協力をお願いいたします。

平成29年度 学年暦

Table with 2 columns: Date and Event. Includes dates from April 1st to March 31st with events like '入学式', '前期授業開始', '卒業式'.



平成二十八年度卒業予定者 内定先職種別グラフ (二月二十八日現在)